



平成 28 年 10 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社オウチーノ
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 井端 純一
(コード番号：6084 東証マザーズ)
問合せ先 執行役員 CFO 村田 吉隆
(TEL. 03-5402-6887)

連結子会社における債権の取立不能又は取立遅延のおそれに関するお知らせ

当社の連結子会社である株式会社スペースマゼラン（プロパティ事業）において、同社の取引先である Standard Property Group Co, Ltd に対する債権につき、下記のとおり、取立不能又は取立遅延のおそれが生じたので、お知らせいたします。

記

1. 当社子会社の概要

名 称	株式会社スペースマゼラン
所 在 地	埼玉県蓮田市末広二丁目 3 番 8 号
代表者の役職・氏名	代表取締役 山下 勇人
事 業 内 容	不動産の売買、仲介、賃貸、管理及び鑑定
資 本 金	100 百万円
設 立 年 月 日	平成 26 年 8 月 6 日

2. 当該取引先の概要

名 称	Standard Property Group Co, Ltd	
所 在 地	TG center #406, Peace avenue #56, 1 ST khoroo, Sukhbaatar district, Ulaanbaatar, Mongolia.	
代表者の役職・氏名	CEO SOD-ERDENE Servuud	
事 業 内 容	建設業	
資 本 金	確認が取れませんでした。	
設 立 年 月 日	確認が取れませんでした。	
連 結 純 資 産	確認が取れませんでした。	
連 結 総 資 産	確認が取れませんでした。	
大株主及び持株比率	確認が取れませんでした。	
相手方との関係	資 本 関 係	該当事項ありません。
	人 的 関 係	該当事項ありません。
	取 引 関 係	当該会社との本件不動産売買取引等があります。
	関連当事者への該当状況	該当事項ありません。



3. 取立不能又は取立遅延のおそれが生じた経緯

平成 27 年 7 月 28 日、当社の連結子会社である株式会社スペースマゼラン（以下、スペースマゼラン社）は、Standard Property Group Co.,Ltd（以下、S 社）との間で、モンゴル国ウランバートル市ソングノ地区において建設される 2,417.02 m²のアパートメントを、プロパティ事業における買取再販を目的として、1,300,000 US ドルで購入する売買契約を締結しました。当該契約には、契約の解除オプション（売買契約の解除及び解約時における購入代金 1,300,000 US ドルに年利 18%の利息を付加した返済）が定められています。同年 7 月 29 日、スペースマゼラン社は、S 社に、アパートメント購入の前渡金として 1,300,000 US ドルの入金を行い、財務諸表上は 161,902 千円（1US ドル=124.54 円）の前渡金計上を行いました。

平成 28 年 5 月 31 日、原売買契約の完了日であり、アパートメントの引渡期日が到来しましたが、アパートメントは完成しておらず、引渡しが未了であったことから、同年 6 月 23 日、スペースマゼラン社は S 社に対し、売買契約に定められた解除オプションの行使を申し出ました。

平成 28 年 7 月 18 日、S 社からスペースマゼラン社に、解除オプションへの同意並びに返済に関する通知が送付されました。返済に関する通知には、平成 28 年 7 月 31 日に 336,300 US ドル、平成 28 年 10 月 31 日に 336,300 US ドル、平成 29 年 3 月 31 日に 861,400 US ドルの返済を行う計画が示されておりました。しかしながら、第 1 回の返済期日である平成 28 年 7 月 31 日に S 社からの返済が履行されず、スペースマゼラン社及び親会社である当社は、S 社と協議、交渉を行い、債権の回収に努めておりました。

その結果、スペースマゼラン社は、平成 28 年 10 月 9 日に S 社より新たな返済計画の提示を受けました。しかしながら、その返済計画は、同年 7 月 18 日に S 社より通知を受けた 3 分割による返済計画に比べ、返済開始時期が約 6 か月程度後ろ倒しになるとともに返済期間が長期間にわたるものになる後退した内容でした。

そのため、当社として、平成 28 年 10 月 9 日において S 社から提示された返済計画を踏まえても、債権回収についての具体的な目途が立たないことから、S 社に対する信用低下並びに債権回収に向けての不確実性がさらに高まったことなどの総合的な判断により、S 社に対する債権について取立不能又は取立遅延のおそれが生じました。

4. 当該取引先に対する債権の種類及び金額

債権の種類	金額	直前連結会計年度末日の連結純資産に対する割合
前渡金	161,902,000 円	20.3%
合計	161,902,000 円	20.3%

5. 今後の見通し

今後は、スペースマゼラン社及び親会社である当社が連携し、引き続き法的手続きを含め債権回収に努めてまいります。

本件につき、貸倒引当金の計上は行っておりませんが、今後の状況に鑑み、貸倒引当金を計上すべきとの判断に至った場合にはその金額及び連結業績への影響を速やかにご報告いたします。

以上